

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成したので報告します。

## 第 18 回 議会改革推進特別委員会

平成 27 年 9 月 7 日 (月)

11 時 08 分 ~12 時 10 分

第 4 委員会室

- 【出席者】 江角委員長、平石副委員長  
足立委員、小川委員、森谷委員、野藤委員、飛野委員、岡本委員  
佐々木委員、道下委員、西田委員、西村委員、牛尾昭委員
- 【議長団】 原田議長、澁谷副議長
- 【委員外議員】
- 【事務局】 三浦局長、外浦書記、篠原書記

### 議 題

- 1 自由討議について 資料 1

別紙案で決定 決裁後 施行

- 2 議員報酬について 資料 2

①旧浜田市議会の合併時の報酬額(35万円)に復元

②実施時期

2点について持ち帰り次回検討

- 3 その他

- ・今後の特別委員会のあり方、目安として臨時会までの常任委員会替えの頃あたりを目途に項目の検討を行ない、整理する。
- ・今会期中に委員長報告(中間報告)を行なう
- ・検討済みの改革項目の進捗状況を確認する必要がある。
- ・タブレット化についても再度議運に働きかけていく。

○次回開催 9 月 28 日 (月) 予算決算委員会終了後 第 4 委員会室

## 【議事の経過】

(開議 11 時 08 分)

江角委員長 お疲れ様です。全員出席で西村さんは資料を取りにいられますが、先に始めさせていただきます。よろしくお願いします。

今日の議題についてはお手元に配布してありますように、一つは自由討議、二つ目に議員報酬について、三つ目にその他です。事務局の案内には、これまでも提起を受けておりました一般質問の質問時間についてがありましたが、議会運営委員会での提起や、あるいは事務局から確認していただきましたが、取り下げということですので、議題からは外しておきたいと思えます。ご了承をお願いします。

### 1. 自由討議について

江角委員長 まず議題1について。要領を前回提案をさせていただき、特に第2条以降の自由討議の場の所だったのではないかと考えています。いわゆる本会議でも自由討議を謳っておこうということで、それを追加したものです。その部分をご確認いただこうと思えます。事務局から補足があればお願いします。

外浦次長 実施要領、資料1で先ほどもありましたが、本会議の場でも自由討議を行えるようにということで、要領を多少ですが修正をしています。第2条第2項に本会議、第3項にも本会議、それぞれ文言を入れています。

あと第3条第2項も、以前は委員会、全員協議会等入れていましたが、本会議も含めたということでそれをなくして、全ての場合において2人以上の賛成者を必要とする形で組み込んで修正させていただいています。

江角委員長 内容については前回議論いただいて、全体的には了解いただいたところですが、重要な本会議もきちんと位置付けておくべきではないかという意見があり、全体でも確認が出来ましたので要領に加えさせていただいたことをご了承いただきたいと思いますと思えますが、よろしいでしょうか。

( 「はい」という声あり )

外浦次長 今後はどういう流れになりますか。この要綱の施行というか流れは。内部決裁というか、規則要綱関係ですので、決済を終えた後になろうかと思えます。

江角委員長 分かりました。ということでまず1番の議題については、おかせていただきます。

### 2. 議員報酬について

江角委員長 二つ目は少し大きいテーマですが、議員報酬についてということで。これも追加の議論をいただいて、議員定数とセットということではなく基本条例の中にも謳ってありますので、単独で検討しようということですので、挙げさせていただいています。事務局に少し資料準備をしていただいているので、資料にそって説明していただきたいと思いますと思えます。よろしくお願いします。

外浦次長 ( 以下、資料をもとに説明 )

江角委員長

資料 2 については見方が難しいかもしれませんが、10 年前に合併する前の、各市町村の議員数が書かれておりますし、合併後は定数特例を使ったので相当な数がおられた中で、だんだんと減らして現在の 24 名になっているという、定数からも見ていただきたいということです。ちょっと分かり難いかもしれませんがそういう書き方がしてあります。

これからどうしていくかを議論いただきたいのですが、議題にあげる前には提起があり、各常任委員長あたりの報酬もあげるべきではないかという声がありましたが、それより先に旧浜田市の報酬 35 万円に戻すのが先ではないかという声もあり、そちらを中心に議論していこうということになりましたので、そこをベースにして皆さんのご意見をいただきたいと思えます。いかがでしょうか。

牛尾昭委員

かねてから復元という言い方をしていますが、旧浜田市議会の報酬ぐらまでは戻すべきではないかと思っています。一つには、一定の報酬がないと特に若い人を含めて新しい方が手を挙げてこの職に挑戦しようという所に至らないのではないかと思います。かつては議員年金があるからといって手を挙げる方はそんなにいらっしやらないと思いますが、色々な条件が変わってきた中で一定の議員職に対する魅力というか、よしやってみようという気になるような一定の条件は必要だと思っています。例えば奥さんがいて子どもが二人いる家庭の人が、自らの職をなげうって議員に挑戦しようという気にならないのが現状です。ですから十分な条件はなくても、こういう厳しい時節ですから、せめて旧浜田市議会の報酬ぐらには復元というのは、今の時代に許されるギリギリくらいの要望かなと個人的には考えています。常任正副委員長という考え方もありますが、全議員の身分保障を上げるという意味で言えば、旧浜田市議会の報酬に復元というのが、一義的にはやるべきではないかと思っています。

江角委員長  
西田委員

はい、他にありますか。西田委員。

私は旧町議会の時のことを色々思い出して、合併の前後では議会の活動範囲や議会が審査する事業数等が予算も含めて旧町村時代、合併前には面積も単純に計算して5分の1、議員報酬もそれなりに出ていますが、例えば三隅町時代は、年間一般会計総額が50億から60億程度でした。それを予算して審査して、その活動範囲も非常に狭い範囲内で、今から思えば非常に楽だったという意識があります。旧浜田市の議員さんも何人かおられますが、同じような感じを持っておられるのではないかと思います。かと言っても合併してから、面積は広がって、議員の仕事量も確かに旧浜田市の方を基準にしても、面積も予算も財政規模も非常に大きくなって大変なんですけど、人口減少やこれからの財政を考えるとあまり高くも望めない。牛尾昭委員が言われましたが、せめて旧浜田市時代のレベルまで復元するくらいなら、私も妥当かなと思います。

江角委員長  
佐々木委員

他にありますか。佐々木委員。

いまお二人が言われたような意見と私も同感なんですけど、丁度今回の一般質問が終わった後に県大生が一人、ゼミの関係で調査に来られていて話が出来たんですけど、その方自身も議員に対して自分の今後の希望として意

思を持っておられて、こういう若者がおられて議員になるような志が持てるような、これは報酬も含めて議員活動全体と思うんですが、そういった魅力あるものになれば、もっともっと色んな市政を含めて状況も変わるような期待もしながら話をうかがいました。そういう意味で、若い人たちが志を持てるような一定程度の、それは一つの大きな要素は報酬だと思います。希望者が出るようなものにするためには、いま言われたような程度のところで復元。基準があるので復元という位置だとは思いますが。多いに越したことはないですが、市民感情や市の現状等もあると思いますので、そういったことで希望者が増えるような改正・検討は必要ではないかと、つい2、3日前にも特に感じました。

江角委員長

はい。色々意見を出していただきまして。委員長報告等にはその意見が反映されることとなりますので、率直な意見を述べてください。道下委員。

道下委員

前回、前々回も議員たるもの……たくさんの議員が出ていただいて、浜田市の隅々の市民の意見を集約するのが・・というのが持論であったわけで、議員報酬は下げてでもたくさんの議員さんを、とずっと思っていました。前回の時には議員さんたくさんお辞めになったんですが、それに対して立候補者は少なく、魅力が薄れているのが顕著になっているのかなという面がありました。皆さん言われていますが議員報酬というものが根本にあるのかなと。議員年金もなくなりましたことを加味し、復元という方向は致し方ないのかなと思っています。

江角委員長

他にございませんか。前回の特別委員会も定数の所で出たんですが、市民の皆さんからの声は定数減らせというのが最も多かったんですが、一つ前の定数で、議場で意見が分かれたが結果今の人数になりました。蓋を開けてみると1名オーバーだったこともあって、どうだったんだろうかという面もありました。その時々立候補の数がいつもそうなるとは限りませんが、今言われるように若い人たちがこの道でしっかり若者の声を纏めて出ようということにならなければ、どんどん年金が貰えるようになって……もう一つ仕事が確保出来ていての議会活動が出来るというだけでは若者の参画が非常に難しいのではないかなと。しかし上げたからと言って若者がすぐ出てこられるかどうか分からないけども、その条件は出ている所までは言うべきかなと私も感じています。そうでない意見も当然あると思います。昨今の議員に対するバッシングもありますし、その辺も含めてご意見をもうすこし出していただければと思います。森谷委員。

森谷委員

今急にという話にはならないと思うんですが、1期目の1年生もいれば4期目5期目の人がいるわけです。前にも言いましたように、誰が見ても知識や経験が違うわけですね。それなのに33万円で同じでしょう。ここは、自分は良いけど昇給も全然ないわけですね。年金もない。力に応じての実力制もない。これは皆そうだから仕方ないと言えそうですが、改革していくべきポイントではないかと思っています。人によって違わせるとするのはしんどい話かもしれないけど、政務活動費で調整することは出来ると思っています。僕なんか足もめちゃくちゃ出ていますが、最初だから政務活動費はたくさん要ると思うんですよ。早く水平飛行に移りたい。そ

ういうバランスですよ。その代わり給料が少なく出来るなら少なくしても良い。だって知識も実力もないわけですから。逆に10年20年やっている人は、政務活動費は抑えてでも給料を上げるべきではないかと思えますし。生活をやるための報酬かどうかという意見はあるんですよ、議員報酬については。だけど生活を持ってやっていくという人のイメージでないと、これからは集まらないとか定員割れにもなりかねないので、そういうことも考える必要があると思えます。

江角委員長  
足立委員

他にありませんか。足立委員。

最年少なので若い立場から言わせていただくと、正直33万円だろうが35万円だろうが非常に苦しいかなとは思えます。私もたまたま別の仕事があるのでこれで生活は出来てはいますが、例えばこれを国民健康保険でやってこれで生活しろと言われると、多分子どもを大学に行かせることはどうかなと思えます。家のローンを払いながらどうのこうの考えた時に、非常に苦しいなというのが実情ではないかと思えます。ただ、市民側から言わせてもらおうと、議員報酬いくらって時々訊かれることがあるので33万円と私は答えます。市民の方の多くは「高いね」と言われるんですが、そこから所得税引かれて云々したら手取り25くらいかなと言うと「安いね」という意見に変わります。市民の方はすぐお金で物事を判断される所がありまして、なかなか説明するのが難しいんですが、これがもし35万円になったとして、35万円になったら私らは堂々と35万円にあげましたと言いたいだろうなと思えますし、35万円になったら分だけ議員としての仕事をするべきだろうと思えます。その辺は各議員のモチベーションかなと思えます。上げることによって当然市民感情はマイナスになるだろうなと思えますので、より各議員の取られる行動は市民に目を光らせて見られるだろうなと思えます。上げることは全然問題ないですし上げるならしっかりあげていただきたいというのが本音ではありますが、先ほど牛尾昭委員が言われるように、元に戻す復元という言い方が一番、市民感情的には落ち着くところかと思えます。これを切っ掛けにさせていただきたいのと、先ほどからちょっと話がありますが、森谷委員も言われましたが、常任の正副委員長、一つ階級で差をつけるとするなら、1期目2期目ではなかなか正副委員長になれないので、そういうポストになられた方はそれだけの労力をされていらっしゃるんで、相応の部分は手当として併せて、上げるのであればそういう所も一緒に考えられても良いのかなと以前から思っていたので、申し上げさせていただきます。

江角委員長  
森谷委員

はい。森谷委員。

確かに何も知らない人は、高い高いと言うんですよ。少し覗いた人は「え、こんなことやってて安いね」と言われるんですけど、その感覚が一番分かりやすいのは、議員全体で市に対してどれだけ貢献したのかということ。宣伝とか当然の情報伝達がないからだと思うんですよ。例えばこの前僕が一般質問で言いましたが、ごみのこと。プラスチックを燃やせるようにしたら3,000万円くらい毎年得なんですよ。そういうのを寄せ集めれば何億かになると思うんですよ。他にも色々考えたけどこれだけは

目に見える成果ですと、分かりやすい説明も必要じゃないかと思えます。僕らの責任ですよね、僕らは辛い思いをしているのに安いと言われる、でも説明しているかと言えば、いやしてないと。こういうことじゃないかと思えます。

江角委員長  
小川委員

はい。仕事を辞められた小川委員どうでしょうか。

確かに議員報酬だけでというのはなかなか難しいというのはありましたけど、業務量と言うか仕事量というのが、昔の国鉄時代に兼職なさっていた議員さんもおられたわけですが、今は議員活動も恐らくその当時、例えば山崎亮さんや小谷さんとか、先輩がおられますが、その当時から言えば業務量的にははるかに今の方が多。当時と比べて恐らく2倍も3倍も増えているんじゃないかという感じは受けます。一緒に仕事をしていた関係で。だからなかなか両立は難しいですが、そうなった時に先ほど委員長が言われるように、例えば職場を退職して年金生活になって、その中で議員にでも出ようかという方くらいでないと、サラリーマンはそういう場には出にくい状況があるんじゃないかと思っています。僕の気持ちとすれば、僕は議員に出られる方というのはそういうサラリーマンも含めて、先ほど佐々木委員も言われたように若い人も出られるような条件、色んな階層の市民の立場から議論するという条件を求めるのが、一番必要じゃないかと。その中でも議員報酬だとなると、一定程度の水準は保つ必要があると思っています。民間との差、あるいは公務員の方の賃金水準となると、高い安いを一概に言うのは難しいですが、特に若い方が出やすいということでもここかの自治体が言われていましたが、倍くらいに報酬を上げてどうだったかと言えば、結果的には手を挙げられる方がおられなかったということがありました。仮にそれは金額の問題だけではないかと。先ほど言われるように議員の活動と、報酬との関係がより市民から見えやすい形になることも必要かなと思っています。確かに35万円に上げて、恐らくその議員報酬だけで家族と一緒に生活……生活費としての位置付けもいくらかないと、ただ市民に対する貢献度だけではかることについてもどうかなと思います。とりあえず復元については私としては、市民の皆さんからも理解していただける水準ではないかと思えますので、そういう形で議論していただければと思っています。

江角委員長

他にありませんか。一言ずつ出してもらって、あとの纏め方は私も持っていないませんが、ご意見をいただきたいと思えます。飛野委員。

飛野委員

少ないより多い方が良いわけなんですけど。私らは農業をやっている所得は殆ど無い中で、こういう立場になるとそれなりの給料をいただけるんだなど。ここに入って、ああこんなにいただけるのかと思った部分もあったわけです。しかし実際問題、こうして2年経過しようとしている中、通帳がいつも火の車なんですよね。それは何故かと言えば、出ごとがある。出たらお金が要りますね。活動をするから、動けばお金が要る。あれこれは厳しいものだなと。何故かと言うと、私ら中山間地から出ているわけですが、若い者がいないんですよ。何かと言えば、若者にとっての議員の魅力が少ないんじゃないか。魅力がないのかなと思わざるを得ない。今日

は復元という言葉が使われて、例えば2万のことでしょうけど、しかしそれは2万であれ何であれ、そういう魅力を作っていく、若者に対する魅力を作っていくという観点から言えば、2万円であれそういう動きを議会の中でしていく、その足跡が前に向いて行っている部分を示していくことが、ちょっとでも魅力アップに繋がるんじゃないかと。私も復元の範囲で取りあえず第一歩を踏み出していただけたらと思います。

江角委員長  
岡本委員

他にありませんか。岡本委員。

私は1期やって、その途中で年金制度が崩壊しました。その時に思ったんですが、私の位置づけとして福利厚生面、例えば厚生年金であったり社会保険であったりは会社の中にいるから良いんですが、若い人を考えた時に、議員になって議員でとなると、まず年金が厚生年金から国民年金に変わること、社会保険が国民健康保険に変わること、議員だから失業保険の対象にならないこと。子どもが進学等するに当たって色々な形でお金を借りる時に、議員は4年に1回審判を受けているわけで、いわゆる選挙を受けていくわけだから、貸す方の側、金融側から見れば信用が出来るポジションではないということから、そういう部分でお金が借りられるかという部分を非常に不安に思われるだろうなど。そういう所から復旧する、私は金額的にはもっともっとという気持ちはあるんですが、次の方も含めて今とりあえず2万という線で、2万でも出してあげるべきだろうと。若い人のためにも。また今後においてはそういう色々な面をクリアできるような形で体制づくりをしたいと。良い議員、良い政治家が生まれてこないと思っています。

江角委員長  
平石副委員長

はい、平石副委員長。

合併した時は議員数が36人でしたか。そのことから考えると、かなり議員の歳費は削減されてきているけれど、仕事量は確実に増えてきているんですね。となるとやはり旧浜田市時代のベースに戻すというのも一応説明出来るでしょうし。もうひとつは森谷委員も足立委員も言われましたが、仕事をしているレベルに合わせてというのはなかなか難しいので、正副委員長に対していくらか上げるというのも、一緒にやった方が良いのかなという感じは持っています。

江角委員長  
野藤委員

はい。野藤委員。

私も1期なんですけど、外から見た時は非常に楽そうに見えたんです。入ってみると大変忙しい。私は教育委員を11年やっていて、教育委員が何をしているのかということで、日報を書きなさいというのを4、5年前くらいから言われて、毎日日報をつけていたんですが、振り返ってみればこの教育委員も相当忙しかったんですけど、実際に逆にこれなら議員に出て議員活動した方が良いなと思ってそうなったわけですが。昔は知りません、合併前とか、しかし非常に忙しい。目に見えない水面下の部分が非常に忙しいというのが分かりました。市民は議員定数を減らせと言われてますが、議員定数がもし減っていけば逆にいくくなる。例えば最低得票率が、当選ラインがあがってくれば、若い人は出られなくなる。特に私は街中から出ているわけですが、街中から特にいくくなるということで、定数の

方もこれだけは要るんだということも是非言っていただきたいのと、復元という話がありますが、これはなってみて分かるんですが嬉しいかなというのもちよっとあります。確かに飛野さんが言われたように、いただけるんですけど出る方も多いと。もし例えば誰か学校へ行って仕送りが発生している状況であれば非常に厳しいかなと。仕事はほとんど出来ない状況なので。報酬については是非とも復元、市民感情として理解が得られると思いますので進めていただきたい。

もう一つ、議員報酬が 33 万円になった時に他の特別職の方も下がっているんじゃないかと思いますが、その方も復元されるのかということがちよっと気になりました。

牛尾昭委員

合併前に各市町村長さんと浜田市議会とで意見交換をしたことあるんですよ。当時出された区長さんの報酬、今は 54 万円ですが、60 万で出ていたんですよ。僕は当時言ったんですよ。今は町村長のポジションにいる人が天下って区長になろうと思ってこんな高い報酬を構えて良いのかと。旭の町長に「そんなことない」と叱られたんだけど。執行部が提示したのは 1 割カットで 54 万か 55 万になったんですよ。そのまま落ち着いたんですが、いつの間にか町村の長が言われるのには、うちの議会の議員はそんなに仕事していない、議会は 3 日 4 日しかしやしないのにそんな高い給料をやってどうするんだという議論が、どうもオフレコであったようです。それで新市の議員報酬もカットすべきだといって 33 万円になったと聞いています。正式にはありませんけど。その時に皆そういうことをしているんですが、区長というのは初めてのポジションですからそういうことがあったんですが、多分市長も……。

三浦局長

多分 95 万が 80 数万でずっと来ているでしょう。

牛尾昭委員

皆抑えているんじゃないかと思います。

江角委員長

他の関連で下がっているものもあります。執行部の特別職みたいにこちらでも特別職だからと。全体的には復元という意見は一致していると確認出来たかと思います。あとはコストの関係、若い人ということになれば政務活動費の期数ごとの扱い等も考えるべきではないかというようなご意見もございました。今日ここだけで決めることにはなりませんので、一度は会派に持ち帰ってもらって、復元をベースにさせていただいて、今後も引き継いで今のポストや政務活動費については議論していく必要があるかと思いますが、なかなか一度で一致するのは難しいかもしれないので、復元あたりを持ち帰って少し議論して、また次に持ち寄っていただけたらと思います。これはその扱いで良いのかというご意見と、もし復元するとすれば、我々の任期以内ではなく今度の改選時とする方が、自分らのお手盛りという見方はされないとは思いますが、この辺も含めて持ち帰って議論して持ち帰っていただきたいと思います。やるのであればどの時期かということについて、もう一度持ち帰ってもらったものを議論したいと思います。出していただいて確認の仕方を整理したいと思いますが、いかがでしょうか。

牛尾昭委員

事務局に訊いてみるんですが、今、報酬審が開かれていて多分特別職の

報酬についても検討中だと思います。その時に報酬についてどのような、例えば新年度なのか、委員長が言われたように新しい任期なのか、その辺の議論はどのようにされているのでしょうか。

三浦局長

私から情報提供ということで申し上げなければいけないと思っていたんですが、これは議員さんの報酬も市長さんの報酬も、特別職の報酬等審議会で審議をされて、外部の意見を聞いて、大体この辺りにということで報酬を改定されるのが通常の形です。報酬等審議会が現在も開かれている状況です。ですから、何回目かは分かりませんがそういう情報を得ましたので、議長団から議会全体の報酬に対する考え方は出ていませんが、やはり他市の状況やそういった適正な報酬を審議いただくよう、議長団から総務部長へ申し入れをしていただいています。それをもって何日前か忘れましたが、報酬等審議会から私に対して呼び出しがあったので、議会出席日数とか合併から過去に遡って議員定数が少なくなってきた状況、本会議や特別委員会に何日くらい出ておられるかといった、そういう状況を全部私から、報酬審議会委員さんへしています。それをもって適正な審議をいただくようにということで、私からお願いをしている段階です。それで総務部長からの情報では、9月11日だったか、また報酬等審議会が開かれて市長さんも含めて議員さんの報酬も審議されますので、ある程度の今年度の方向が出るかなと聞いていますので、また皆さんの方にそういったものが出れば、またこの委員会等でそういった状況をご説明しようかと思っていました。また、今回委員長が申されたように、ある程度皆さんの方向性が出るということになれば、また報酬等審議会、だいたい定例で多分開かれると思いますので、議長団から申し入れをさせていただくとかいうことで、お願いしようかと思っていました。現在の状況はそのようなことです。

江角委員長

はい。では先ほどのまとめでよろしいでしょうか。持ち帰ってもらって。今日はそう大きく意見が違ったわけではないので、そう長くかからずに結論が出ると思います。持ち帰って議論していただきたいと思います。

### 3. その他

江角委員長

それでその関係もあるんですが、その他ですけれど。一つは特別委員会ですので、目的が達成するまでこの委員会を設置することになりますが、今日配って貰った資料で、まだ……。

外浦次長

配りましょうか。

江角委員長

うん、配ってください。

( 資料配布 )

皆さんからも個人的にも会派からも議論をすべきということを出してもらった所を少しずつ議論してまいりました。配って貰いますが、残り僅かになってきています。臨時議会が11月……。

三浦局長

ええ、11月第2週目の月・火曜日です。

江角委員長

それまでに頑張ってこなせるようなテーマではないかなと受け止めています。これは議論してみなければ分かりませんが、どうしても伸びるということになれば持ち越すしかありませんが。常任委員会は2年で変わっ

てまいりますので、ここらあたりを目途にこの委員会も精力的に、あと残ったものを整理していったらどうかというのが一つ。思いがあります。議論の仕方にもよりますので、どうしても残るものがあるかもわかりませんので、一概には言えませんが、目安とすればそのほうが一番次の特別委員会の設置の考え方もあると思いますし、ここで言うべきことではないかもわかりませんが、議員定数をどうするのかというようなことも、多分新しい常任委員会体制など、議会体制など踏まえて出てくるのではないかと思いますので、そこを目安にしておけばなあという感じはしておりますが、このあたりの意見と、もうひとつは全体のところで会期制の関係で通年という形で確認させていただきましたし、議運でも議論していただいておりますので、少し大きいテーマでしたので、この議会での委員長報告をさせていただきますので、執行部にも正式にわかるような形、あるいは市民の皆さんにも伝わるような形にしておいたほうがいいのではないかと思います。この委員長報告、この報酬もでてからやれということになれば、それもまた一つのやり方だと思いますが、このあたり2つの点皆さんのご意見をいただいで判断したいと思います。いかがでしょうか。

森谷委員  
江角委員長

報告は早く決まったものはその都度やるべきだと思います。

よろしいでしょうか、といいますか、また報告の文書を皆さんに見ていただかないといけません。そう数が多くあるわけではないですね。委員長報告をもしするとすれば、通年の会期制と……

外浦次長  
江角委員長

そうですね。

報告を行なうことでいいでしょうか。また見ていただくということで。（「異議なし」という声あり。）

それと今後の特別委員会のあり方ですが、目安としてもっと議論して結論を出していかないといけない事態になれば当然伸びますが、臨時会までの常任委員会替えの頃あたりを目途にしたらと思いますが、又もう少し精力的にこの委員会でなければこなせないかもわかりませんが、その点いかがでしょうか。

（「異議なし」という声あり。）

それでは、目安ということでそのようにしたいと思います。それでは次の委員会の日程ですが。調整したいとおもいますが。

（委員間で調整）

28日(月)の予算決算委員会終了後でもいいでしょうか。但し、事前に委員長報告を配布していただくということで、どうでしょうか。

（「異議なし」という声あり。）

それではそのようにいたします。委員の皆さんからそのほかありますでしょうか。

森谷委員

議会での発言の長さについてですが、1人が1時間を目処に云々です。議員は守っているけれども、執行部がどうのこうのという問題がありまして、今回回答弁書を事前にいただきまして、すごく長いのがありました。全部確認して削除をと、執行部にお渡ししました。そうしたら市長が句読点などチェックしておってこれは修正できないということを言われました。

三浦局長  
森谷委員

私の答弁で間延びしたのがいくつかあったんですが、あれは全部変更出来ないといった内容なんです。こちらから伝えているんでしょ。

簡潔にというのは常に伝えています。

それが、かえるの面に・・・という感じで、・・・もう少し重く捉えていただいていたのですが。また、会議を短くということから休憩時間があるわけですから、最初から質問席に座っててもいいのではないかと思います。議員もずっと立っておくのも考え方ではないでしょうか。それによってかなりの時間が短くなるのではないのでしょうか。会議の進度が遅いです。次の会議が。ユーチューブアップについても、決まっているからゆっくりやろうということですが。早く改善する決定をすればいいわけですし、最小の経費で最大の効果があります。私は法律にふれないと思っていますからアップしていますが、全然お金が要らないんですよ。ホームビデオでとって。それで出来るのですからわざわざ地方自治法2条違反をしてまで、予算を要求してゆっくりやることは違法だと思います。早い前倒しに変えるという決定をなぜできないのかが不思議でたまらないです。資料を探すときに見つけたときに説明が終わるということがあります。私はそれをABCでも記して、特に決算などでは、すごくわかりやすいと思います。そのあたり簡単な工夫ですごく効果があると思いますので、どんどん工夫の余地があることはやっていただきたいと思います。

意見でよろしいですね。

江角委員長  
森谷委員  
足立委員

はい。

タブレットの結論は27年度以降に予算化云々という願いはされたかと思うんですが、今回の決算委員会が来週からありますが、実は市役所のコピー機はOCR機能付きなんです。OCRというのはタブレットなどで、検索可能なんです。あいまい検索も含めてできるんですが、そういう機能がPDFに自動的に入るようになって実はいつでもタブレットなり携帯電話でそれをPDF化したものを各議員に配布すれば、一言二言の文言で全て検索できるんです。今は資料を全て見なくてはいけない状況でして、先ほど森谷委員が言われたように、説明が終わった時点でようやく見つけたとか、そのようなところがあって、それとPDFにはメモ書きも出来るので執行部が用意されるのは当然なんです。出来ない段階でも各議員にPDFでデータを送るとか、各議員がそれを見て、電算化によって自分でメモ書きしても良いし、従来どおり手書きでもいいんですが、そういう取っ掛かりをつけないと、今の浜田市、予算が付くまでといっても、なかなかなので少しでもPDFでデータを送るということを執行部に求めてはいかがかと思います。

江角委員長

ごもっともな意見だと思います。進捗度の面も特別委員会としても、議運に渡して終わりというわけにもいきませんので、チェックをかけていただいて、出来るだけ早くできるように、ということと、タブレットの関係もどこかでもう一度、早めに何らかの形で導入が進むように議運にも話をするとか、発言時間についてはここで、どうこうならないと思いますが、相手の質問を短くすればこちらの時間も助かるという問題でもないです。今

日は全体的な時間についても取り下げということになりましたので、極力お互いに注意をすることと、執行部にもできるだけ、簡潔に答弁をしていただくように、議運でも言わせていただくか、委員長もここに居られますので受け止めていただきたいと思います。もっと違う形で整理しろということがあれば出していただきたいと思います。

森谷委員

IT化のことで、今はそういう流れで進んでいるんですが、出来ない議員が反対するということが、多いみたいです。それはもう絶滅危惧議員ですよね。チャレンジしなければいけないのに。積極的に賛成することはいかがかという時にも反対だけはしないでいただきたいと思います。

江角委員長

はい、研修をしっかりとやるということで、絶滅しないように。ということで、纏めさせていただきましたが、よろしいでしょうか。終わらせていただきます、ご苦勞様でした。

(閉議 12時 10分)

浜田市議会委員会条例第65条第1項の規定により委員会記録を作成する。

議会改革推進特別委員会 委員長 江角 敏和 ㊟